

2015年(平成27年)

12月16日

水曜日

日刊工業新聞

債権入金・回収システム

低価格タイプ投入

オール・アンド・エー・シー

オール・アンド・エー・シー(東京都千代田区、高山知泰社長、03・5835・2197)は、債権入金・回収業務に特化したパッケージシステムの低価格エントリーモデルを21日に発売する。既存システム「VictoryOne(ビクトリーワン)G3」の

データ量に上限を設けて付随する処理を少なくした上、大手企業しか使わない一部機能を省き価格を4分の1程度に抑えた。請求と入金の情報を取り込んでおくと自動で情報を照らし合わせ、入金済みなどができる。価格は個別見積もり。

取り扱う入金データ件数の少ない中小への導入を狙う。既存システムは入金件数が500件以上の企業でないと費用対効果が高まらないが、発売する低価格モデルは200〜300件程度で効果がある。現行システムを使うと債権の回収効率が大幅に上がるため引き合いは多いが、価格面で導入を断念する中小も多い。